

学校法人 大阪明星学園 平成20年度事業報告書
(平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)

I.法人の概要

学校法人 大阪明星学園は、ローマに本部を持つカトリック・マリア会が設立母体となっている。日本には、1887年(明治20年)5名の修道士が、本部から派遣され、まず東京に暁星学園を、1891年には長崎に海星学園、1898年には大阪に明星学園を設立した。今では、札幌で光星学園も経営している。

学園設立の当初から実践されてきた、カトリックの精神に裏打ちされた教育、生徒一人ひとりの人格を尊重する教育等が本学園の建学の精神である。

1. 設立年月日

1898年(明治31年)9月1日

2. 設置する学校および学則定員数・生徒数(平成20年5月1日現在)

中学校	学則定員	生徒数	高等学校	学則定員	生徒数
	810名	872名	普通科	1,290名	1,149名

同 (平成21年3月31日現在)

中学校	学則定員	生徒数	高等学校	学則定員	生徒数
	810名	852名	普通科	1,290名	1,134名

3. 設置する学校の所在地

学校法人 大阪明星学園

〒543-0016 大阪市天王寺区餌差町5-44

明星中学校、明星高等学校

4. 教職員の概要(平成20年5月1日現在 校長含む)[総計 143名]

	教諭	常勤講師	非常勤講師	計	職員	嘱託	計
中学校	39	0	11	50	5	1	6
高等学校	62	1	17	80	6	1	7
計	101	1	28	130	11	2	13

5. 役員の概要(平成21年3月31日現在)

定員: 理事5名 監事2名

理事長 坪光正躬(学園長)

監事 藤原 忠房

理事 斎藤壮一(明星中・高等学校長)

富永 護

理事 清水一男(日本マリア会地区長)

理事 馬込新吉(明星中・高等学校副校長)

理事 中木熊男(暁星学園)

<当事業年度の役員の異動>

理事の変更 富来正博理事の退任。中木熊男理事の就任。

II.事業の内容

1. 施設設備の改修に関する事項

- (1) テニスコートの改修
施工金額 8,190 万円
- (2) 南館教室・廊下改修
施工金額 140 万円
- (3) 真田山荘（教職員宿舎）の解体
解体費用 790 万円

2. 学校評価の実施

概要はホームページに掲載

3. 大阪府維新プログラムにより経常費補助金の減額

経常費助成の見直し案	高等学校	従来ルールによる単価×▲10%
	中学校	従来ルールによる単価×▲25%
経常費補助金前年度比	高等学校	総額 ▲2,745 万円
	中学校	総額 ▲3,451 万円

4. 大学入試結果について

学園ホームページに掲載

5. 小鳩会（慈善活動組織）報告

会員である本校在校生からの献金と、学園祭などで保護者や一般の方々に献金していただいた資金は、緊急災害援助、海外里子教育支援、ブラジル・ストリート・チルドレン支援、難民支援などのために送金しました。また、年末には「釜ヶ崎」の労働者の方々への支援として、お米や石けんなどを届けました。生徒たちの自主的な募金活動への参加など意欲的な面も目立つようになりました。このような活動は、会員の隣人愛を育むことを目的に行われています。

支援先

- 緑の募金（森づくり）
- ルワンダの教育を考える会（ルワンダでの学校建設）
- 出会いの家（釜ヶ崎への支援）
- カリタス（チャド難民緊急支援）
- カリタス（ルワンダ虐殺後の孤児支援）
- 中国大使館（中国四川省地震被災者支援）
- カリタス（ミャンマー・サイクロンの被害者支援）
- 赤十字（岩手・宮城内陸地震の被災者支援）
- こどもの里（釜ヶ崎のこども支援）
- サオヒン（タイ国）YMCA（タイ北部チェンマイ支援）
- チェンマイマニア（タイ北部チェンマイ、古着支援）
- 世界里親会（里子2名の継続支援）
- 釜ヶ崎勝ちとる会（お米の支援、米と石けん）

小鳩会収支 収入合計 1,329,105 円 支出合計 1,329,105 円